

## 平成 28 年新年意見交換会 開催報告

平成 28 年 2 月 14 日  
幹事長 鈴木昌次

新年意見交換会も本年で第 3 回目の開催となりました。これまでと同様に司会者の声も届かぬほど盛り上がり、大変有意義な意見交換会となりました。

今回の参加者は、30 歳代 3 名 (5%)、40 歳代 18 名 (28%)、50 歳代 23 名 (36%)、60 歳以上 20 名 (31%) と、50 歳以上が 67% を占めるという状況でしたが、若い方々も普段は交わることも少ない他社・他業種の経験豊富な方々との交流の中で得るものも多かったのではと実感しています。

最後の締めくくりは恒例により肥後満朗様にお願いしました。新年のスタートを切るに当たって、勇気づけられ、また取り組むべき課題や方向性をお示し頂くなど、楽しくも素晴らしいエンディングとなりました。

ご参加頂いた各位に改めまして御礼を申し上げます。来年も、より良い「新年意見交換会」を企画致しますので、会員各位のご協力をお願い致します。

1. 開催日時：平成 28 年 1 月 21 日 (木) 18:30～20:30

2. 開催場所：ホテルアジュール竹芝

3. 意見交換会 次第

(1) 中川浩二理事長 年頭ご挨拶\*

(2) 乾杯 中田雅博 特別顧問\*

— 歓談 —

(3) 参加者年代別年頭所信

30 代 : 山岸洋平様 電気化学工業㈱

40 代 : 大谷達彦様 西松建設㈱

50 代 : 石原 淳様 ㈱ケー・エフ・シー

60 代以上 : 中村明彦様 ㈱テムロ

(各年代の中央値に該当する方にお願いしています)

— 歓談 —

(4) 閉会のご挨拶 : 肥後満朗様 ㈱安藤・間\*

\* : 本報告書にスピーチを掲載しています。

## 【会場の様子とスピーチ】



### 【中川理事長 年頭挨拶】

あけましておめでとうございます。

NPO は今年で 11 年目 (H17 年～H28) になります。

このような形で関東支部の新年会を盛大に行われたことは非常にめでたいと思います。新年会というのは今年の始めだから新年会というのであって、なにをやるか？今年はこれからどうするのか？ということを言えばかつて良いのですけど、そういうことは言わない…で楽しく飲みましょうということで、今日はよろしくお願ひします。



### 【中田特別顧問 乾杯発声】

11 年目をむかえたということで。ほとんどの組織は 10 年目をなんとか迎えて更に新たな 10 年を迎える。こういう比較をすると先生は怒るかもしれません、AKB48 も同じ年に初公演があって昨年の 12/8 で 10 周年目の公演を終えたということだそうです。

それがあるわけじゃないのですけれど実は AKB の CD を買いまして、楽曲投票券というのを締め切りが過ぎていたので投票はできなかつたんですけれど。朝ドラで「朝が来る」っていう主題歌で「365 日の紙飛行機」の中のフレーズで気に入ったのは「思い通りにならないときは明日がんばろう」そんな歌詞がある歌で「あー、いい曲だな」と。行き詰った時はそういう歌を聞きながらとにかく寝るっていう…。そのせいか実は朝方にアイディアがぱつと浮かぶことがたまたまあったという記憶があります。皆さんも気が向いたら朝ドラを見ていただいて、そのフレーズを聞いてみてください。

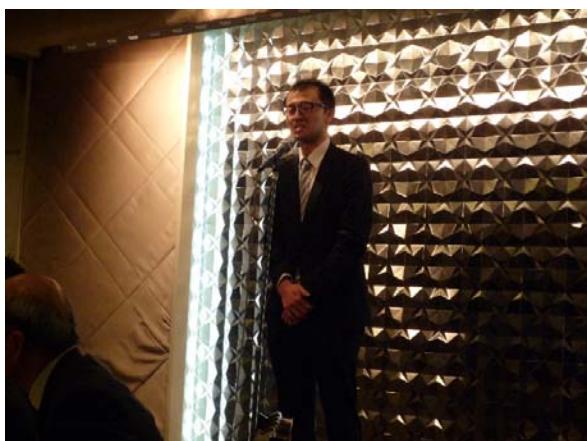
乾杯の発声をさせていただきます。

今後 10 年を目指して 10 年後も AKB も頑張っているな前！というような NPO になってみたいと、鈴木幹事長の言葉を受けて思いました。

10 年後を目指して、また会員の皆様の健康・大切な方のご健康ご活躍を願って乾杯させていただきたいと思います。



#### 【参加者年代別年頭所信】



30 代代表 山岸洋平様 電気化学工業(株)



40 代代表 大谷達彦様 西松建設(株)



50 代代表 石原 淳様 (株)ケー・エフ・シー



60 代以上代表 中村明彦様 (株)テムロ

### 【肥後満朗様（株）安藤・間）閉会の辞】

ご紹介いただきました安藤・間の肥後でございます。あけましておめでとうございます。

2016年がはじまって、もう3週間ほど経ちました。2015年度は建設業に携わっておられる会社の多くが増収・増益になっているのではないかと思います。そして今年は、是非協力会社も含めて処遇をちゃんとしよう、労働環境も整備しよう、学生がちゃんと建設関係を目指してくれるような環境を作ろう！ そしてそれを本当に実行しないといけない年になっていると思います。また、うれしいことに、国土交通省の力の入れ具合がすごくよくなり、建設業を後押ししていただいております。今日も設計労務単価の改訂が専門紙に載っていましたが、こうした後押しをしっかりと受けとめて、もっと魅力のある土木や建築にしていかないといけないし、できる時にきていると思います。オリンピックの後はどうなるだろうとか、いろんなことがあると思いますが、今のこの流れを魅力ある土木に繋げて行きたいと思います。是非、この臨床トンネル工学研究所が皆様方のお互いの情報の交換の場になって一人ひとりが能力をアップするような場として活用し、成長していただきたいと思います。

最後になりますが、臨床トンネル工学研究所のますますの発展と、出席していただきました皆様方の会社の発展と、それから皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして閉会の挨拶とさせていただきます。

本日は、まことにありがとうございました。



以上